

香良洲地区津波避難計画作成研修会の様子

平成24年7月1日（日）

サンデルタ香良洲

三重大学大学院工学研究科川口准教授を講師にお招きし、香良洲地区自主防災会リーダー、香良洲地区の消防団員、三重短大生など71名の方々に御参加をいただき、津波に関する基礎知識や避難方法について学んでいただきました。

その後、雨の降る中、研修会場のサンデルタ香良洲から、高台となる高茶屋市民センターまで、班別でタウンウォッチング（まち歩き）を行い、気付いたことや危険箇所などを地図に記入し、避難経路の検討と発表を行いました。



研修の様子

川口准教授から、東日本大震災の津波被害や南海トラフの巨大地震に関する想定、津波からの避難方法などについて研修を受けます。

タウンウォッチングをするうえで重要なことは、災害が発生したことをイメージして、役立つものや危険なものを自分たちの目線で探すことです。ここでは、一時的な避難が可能となる駐車場を確認しています。



タウンウォッチングの様子



避難計画作成の様子

タウンウォッチングの経路上で気づいたこと等を地図上に落とし込み、避難経路を確認します。避難経路は、複数検討するようにし、それぞれの避難距離、所要時間、危険個所で避難経路を評価します。